

派遣先所属 宮城県仙台塩釜港湾事務所  
氏 名 吉岡 貴春（よしおか たかはる）  
派遣期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日

## 1 派遣業務の内容、現況

仙台塩釜港湾事務所で仙台港・塩釜港・松島港の港湾施設の復旧・復興を担当しています。東日本大震災から7年7ヶ月が過ぎ、担当している管内3港区の港湾施設の着手率は工事件数ベースで88%、完成率では50%という状況になりました。

遅れている主な要因も当初の資材・労務・機材などの不足から、用地問題、条件の厳しい離島等での案件の入札不調と大きく変わって来ています。そのなかで松島港区においては11月中旬に事業の完成式も予定され明るい話題となっています。

また、港湾工事の特徴として一般土木に比べると、気象条件による中止も多いうえ、船舶、漁業組合との水域・航路の調整も加わり、工程の変更もたびたび発生するため、スケジュールに遅れが発生しないよう管理しています。

2年目を向かえ担当している業務にも変化が生じています。緊急性の高い防潮堤、船揚場、物揚場等の工事から最近では陸閘、水門及び上屋建築工事等に工事もシフトして来ています。工事内容は変わって来ましたが、宮城県職員・任期付職員、派遣職員が協力しながら進めている状況に変わりはありません。

仙台塩釜港湾事務所には都道府県の応援職員として、東京都からも職員が来ています。宿舎も同じという環境なので、コミュニケーションを取りながら協力し合って事業を進めています。



塩釜港区 離島桂島の防潮堤現場にて

## 2 被災地の復旧・復興の状況

最近では町の様子も大きく変わり、被災地を実感できなくなって来ました。そのような中、当事務所では今年度が工事のピークだと言われています。多くの事業が今年度から来年度に向けて完成する予定です。これからの半年間の成果が復旧・復興工事の完成年度を左右するという気持ちで業務にあたりたいと考えています。

## 3 被災地へ派遣となって

宮城県で派遣職員として大規模な復旧工事に携わることができたことは貴重な経験です。そして楽しく仕事できたことは東北の人々の温かさのおかげと思っています。

また、北は本州最北端の大間、竜飛岬から福島までの太平洋側・日本海側沿岸部、そして内陸部の温泉・観光地巡りと岩木山、岩手山、秋田駒、栗駒、月山他の山にも登れたことも心に残っています。

(平成30年10月作成)